

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月30日

計画の名称	伊勢原市安全で災害に強いまちの実現										
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	神奈川県伊勢原市				
計画の目標	南関東地震による地震動（最大震度7クラス）が発生した場合でも、災害拠点病院や避難所などからの下水道施設の流下機能、処理機能を維持する。下水道施設の老朽化に起因する事故の未然防止やライフサイクルコストの最小化を図るため、長寿命化対策を含めた計画的な改築を推進する。										
計画の成果目標（定量的指標）	②処理場・ポンプ場の地震対策実施率を0%（H23）から14.3%（H27）に増加させる。 ④管渠における長寿命化計画策定率を0%（H23）から57.9%（H27）に増加させる。 ⑥重要な管渠の地震対策実施率を17.3%（H23）から31.2%（H27）に増加させる。 ⑦下水道長寿命化計画で実施する処理場・ポンプ場の改築実施率を0%（H25）から38.4%（H27）に増加させる。										
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考	
							当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)		
②処理場・ポンプ場の地震対策実施率 地震対策完了済みの施設数（箇所）／地震対策を実施すべき施設数（箇所）							0.0%	0.0%	14.3%		
④管渠における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み管渠区域面積（ha）／長寿命化計画を策定すべき管渠区域面積（ha）							0.0%	0.0%	57.9%		
⑥重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／重要な管渠の延長（km）							17.3%	18.3%	31.2%		
⑦下水道長寿命化計画で改築を実施する処理場・ポンプ場の改築実施率 改築工事完了済みの施設・設備数／改築工事を実施すべき施設・設備数							0.0%	0.0%	38.4%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,274百万円	A	2,274百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%	
事後評価											
○事後評価の実施体制、実施時期											
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期					
下水道運営審議会						平成29年1月					
						公表の方法					
						ホームページによる公表					

1. 交付対象事業の進捗状況														上段 (計画)					下段 (実施)					全体事業費 (百万円)	備考
交付対象事業																									
A1 下水道事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					備考									
											H23	H24	H25	H26	H27										
東部処理区																									
A1-1-2	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	新設	石田・高森地区 (長寿命化対策)	長寿命化計画策定 長寿命化計画策定に伴う管路施設調査	伊勢原市							11 20	長寿命化対策							
A1-1-7	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	第2 4 - 6 幹線 (地震対策)	汚水管φ700mm L=1.4km 汚水管φ700~1000mm L=0.62km	伊勢原市							421 386	総合地震対策							
A1-1-8	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	マンホールトイレシステム (地震対策)	マンホールトイレシステム12基	伊勢原市							5 0	総合地震対策							
A1-1-9	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	マンホールトイレシステム枝線の耐震化 (地震対策)	2 0 箇所	伊勢原市							4 0	総合地震対策							
A1-1-10	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	緊急輸送路等耐震化 (地震対策)	2 4 箇所 1 6 箇所	伊勢原市							30 44	総合地震対策							
A1-1-11	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	下落合第1・第2ポンプ場 (長寿命化対策)	ポンプ場 電気設備 ポンプ場 電気設備	伊勢原市							53 5.6	長寿命化対策							
A1-1-12	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	下落合第1・第2ポンプ場 (地震対策)	ポンプ場の耐震化 (診断) ポンプ場の耐震化 (診断)	伊勢原市							17 13.8	総合地震対策							
中央・西部処理区																									
A1-2-5	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (地震対策)	管理棟の耐震化 管理棟の耐震化	伊勢原市							88 20.6	総合地震対策							
A1-2-7	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	新設	鈴川地区 (長寿命化対策)	長寿命化計画策定 長寿命化計画策定に伴う管路施設調査	伊勢原市							5 3	長寿命化対策							
A1-2-12	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	汚水主要第1 幹線 (地震対策)	汚水管φ450~1200mm L=2.1km	伊勢原市							20 0	総合地震対策							
A1-2-13	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	マンホールトイレシステム (地震対策)	マンホールトイレシステム36基 マンホールトイレシステム36基	伊勢原市							14 14	総合地震対策							
A1-2-17	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (地震対策)	自家用発電機棟の耐震化 自家用発電機棟の耐震化	伊勢原市							11 16.5	総合地震対策							
A1-2-18	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	増設	伊勢原終末処理場 (地震対策)	簡易処理機能の確保 簡易処理機能の確保	伊勢原市							16 7.7	総合地震対策							
A1-2-19	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	マンホールトイレシステム枝線の耐震化 (地震対策)	8 0 箇所 2 8 箇所	伊勢原市							21 20	総合地震対策							
A1-2-20	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	汚水主要第2 幹線・第1 分区第3 幹線 (地震対策)	汚水管φ600~1200mm L=1.1km	伊勢原市							11 0	総合地震対策							
A1-2-21	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	汚水主要第2 幹線ネットワーク化 (地震対策)	汚水管φ600mm L=1.5km 汚水管実施設計φ600mm L=1.5km	伊勢原市							412 2	総合地震対策							
A1-2-22	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	汚水第2 分区第1 幹線 (地震対策)	汚水管φ350~1000mm L=2.0km	伊勢原市							63 0	総合地震対策							
A1-2-23	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	緊急輸送路等耐震化 (地震対策)	2 6 箇所 4 箇所	伊勢原市							30 24	総合地震対策							
A1-2-24	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	東大竹ポンプ場 (地震対策)	ポンプ場の耐震化 ポンプ場の耐震化	伊勢原市							22 23.7	総合地震対策							
A1-2-25	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (長寿命化対策)	沈砂池ポンプ 施設 土木・建築設備 沈砂池ポンプ 施設 土木・建築設備	伊勢原市							2 1.3	長寿命化対策							
A1-2-26	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (長寿命化対策)	水処理施設 土木・建築・建築設備 水処理施設 土木・建築・建築設備	伊勢原市							108 30.1	長寿命化対策							
A1-2-27	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (長寿命化対策)	沈砂池ポンプ 設備 電気設備 沈砂池ポンプ 設備 電気設備	伊勢原市							16 23.7	長寿命化対策							
A1-2-28	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (長寿命化対策)	水処理設備 機械設備・電気設備 水処理設備 機械設備・電気設備	伊勢原市							506 346.1	長寿命化対策							
A1-2-29	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	伊勢原終末処理場 (長寿命化対策)	汚泥処理設備 機械設備・電気設備・土木 汚泥処理設備 機械設備・電気設備・土木	伊勢原市							375 324.7	長寿命化対策							
A1-2-30	下水道	一般	伊勢原市	直接	—	汚水	改築	東大竹ポンプ場 (長寿命化対策)	ポンプ場 電気設備 ポンプ場 電気設備	伊勢原市							13 0.6	長寿命化対策							
											合計					2,274 1,325.9									

B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						
										H23			H24	H25	H26	H27
										合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						
										H23			H24	H25	H26	H27
										合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>指標②：処理場・ポンプ場の地震対策については、平成25年度より防災・安全交付金に移行し事業を継続実施した結果、南関東地震などの大規模地震が発生した場合でも、災害拠点病院や避難所などからの汚水の流下機能、処理機能を確保することに貢献できた。</p> <p>指標④：石田・高森・鈴川地区の40年以上経過している汚水管について、カメラ調査及び管渠の診断をしたことで、管渠の状態を把握し今後の対策の基礎とすることができた。</p> <p>指標⑤：災害拠点病院の下流にあたる汚水幹線の整備、緊急輸送路に埋設されている汚水幹線及びマンホールトイレ設置箇所の下流管渠について耐震化を実施したことで、震災時における幹線の流下機能の確保ができた。</p> <p>指標⑦：処理場・ポンプ場の長寿命化計画に基づいて老朽化した設備の再構築を行うことにより、計画的、効率的に取り組むことが出来た。</p>								
II 定量的指標の達成状況		指標②処理場・ポンプ場地震対策実施率	最終目標値	14.3%	目標値と実績値に差が出た要因	管理棟の耐震化を完了する予定であったが、処理場の機能を確保しながら事業を実施するには複数年分けて行うことが最適であることから、事業期間を平成28年度まで延伸し、計画最終年に完了できなかったため。				
			最終実績値	7.1%						
		指標④管渠長寿命化計画策定率	最終目標値	57.9%	目標値と実績値に差が出た要因	平成27年度に策定を予定していたが、補助金制度が「長寿命化支援制度」「ストックマネジメント支援制度」への移行に伴い、ストックマネジメント計画策定に必要な調査を優先したため。				
			最終実績値	0.0%						
		指標⑥重要管渠地震対策実施率	最終目標値	31.2%	目標値と実績値に差が出た要因	重要度の高いポンプ場の耐震化を優先したことから、重要な管渠の地震対策は、4.2km実施する予定のところ、2.8kmの対策となったため。				
			最終実績値	26.5%						
		指標⑦長寿命化計画処理場・ポンプ場改築実施率	最終目標値	38.4%	目標値と実績値に差が出た要因	伊勢原市下水道長寿命化計画（処理場・ポンプ場、平成25～平成29年度）に基づき、平成27年度までに370設備のうち142設備を改築更新する計画であったが、改築更新が必要な対象施設・設備の優先順位、優先度を再選定し整備を行ったため。				
			最終実績値	18.1%						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		行政センター及び避難所に、マンホールトイレの設置を行ったことにより、震災時におけるトイレ機能及び避難所の生活環境と、接続先管路の流下機能を確保することができた。また、緊急輸送路に埋設されている管路の耐震化を行ったことにより、震災時における輸送路としての機能を確保することができた。								
3. 特記事項（今後の方針等）										
<p>今後も引き続き下水道施設の地震対策を推進し、大規模地震時の災害拠点や避難所などからの汚水の流下機能、処理機能を確保に努めていく。</p> <p>また、老朽化した下水道施設の長寿命化対策について、計画的、効率的に再構築に取り組む、事故の未然防止やライフサイクルコストの最小化を図っていく。</p>										

(参考図面) 防災・安全交付金

